

令和元年度 公益社団法人 北海道臨床工学技士会 総会議案書

日 時 : 令和元年6月9日(日) 9:00～
会 場 : KKR札幌医療センター 3階会議室
所在地 : 札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

重要な連絡

この総会議案書発行後において訂正等生じた場合は、公益社団法人北海道臨床工学技士会ホームページ (<http://hcea.umin.ac.jp/>)に掲載しますので、ご確認頂きますようお願い致します。

委任状返信のお願い

総会の出席又は欠席に関わらず、同封しましたハガキに署名捺印し、6月5日(水)迄(必着)に返送して頂きますようお願い致します。

また、欠席の場合は、委任状へ署名・捺印をお願い致します。

※ 当日は、総会議案書をご持参ください。

令和元年度 公益社団法人 北海道臨床工学技士会総会議案書

総会式次第

- 1.開会の辞
- 2.会長挨拶
- 3.書記、議事録署名人選出
- 4.資格審査報告、総会成立宣言
- 5.審議事項
第1号議案 平成30年度事業および収支決算報告
第2号議案 平成30年度監査報告
- 6.報告事項
・令和元年度事業計画報告
・令和元年度収支予算報告
- 7.その他報告事項
- 8.閉会の挨拶

審議事項

第1号議案 平成30年度事業および収支決算報告

○平成30年度事業報告

1. 学術委員会(公2)

- ・平成30年9月16日(日)第9回北海道呼吸療法セミナー(北海道自治労会館)
参加者:80名(会員48名、非会員32名)
- ・平成30年10月14日(日)第29回北海道臨床工学会(北海道大学学術交流会館)
参加者:422名(会員217名、非会員16名、賛助会員39名、学生150名)
- ・平成30年10月21日(日)第19回北海道透析技術談話会共催(北海道大学学術交流会館)
- ・平成30年11月17日(土)アフレス血浄化技術セミナー2018(札幌北楡病院)
参加者11名(会員8名、非会員3名)
- ・平成31年2月2日(土)、3日(日)第30回人工呼吸セミナー 運営支援(札幌医科大学)

2. 広報委員会(他1、公2)

- ・技士会ニュース年6回発行(5、7、9、11、1、3月)*広告掲載企業14社
- ・会誌年1回発行(9月)*広告掲載企業20社
- ・ホームページ更新:各委員会報告、各学会・セミナー案内、会員への有益な情報提供
- ・パンフレット、リーフレットの配布:関連行事にて一般市民へ配布
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展での広報実施
- ・各開催事業の写真撮影
- ・facebook ページの運用
- ・会誌の各種論文情報データベースへの登録:メディカルオンライン、医学中央雑誌、国立国会図書館

3. 安全委員会(公2)

- ・第13回医療安全セミナー平成30年10月28日(KKR札幌医療センター)
参加者:25名(会員12名 非会員4名 学生9名)
- ・北海道手術室安全セミナー平成31年3月8日(KKR札幌医療センター)
参加者:54名(CE24名 NS29名 その他1名)
- ・ホームページおよびメーリングリストを用いた医療安全情報の発信、啓蒙

4. 教育委員会

- ・Y ボードミーティング平成 30 年 7 月 21 日 (TKP 札幌) (他1)参加者:16 名
- ・Y ボードミーティング平成 31 年 1 月 19 日 (北彩都病院) (他1)参加者:12 名
- ・第 14 回卒後教育セミナー「統計セミナー」平成 30 年 9 月 2 日 (吉田学園) (他1)参加者:10 名
- ・第 15 回卒後教育セミナー「不整脈関連」平成 31 年 2 月 24 日 (ムトウ本社) (他1)参加者:45 名
- ・各養成校と意見交換 平成 30 年 9 月 14 日、平成 31 年 2 月 18 日(他1)
- ・北海道心カテセミナー平成 30 年 7 月 22 日 (KKR 札幌医療センター) (公 2)参加者:27 名
- ・臨床実習ガイドライン Ver4.0 へ改訂(公 2)
- ・手術室業務簡易指針作成準備(公 2)

5. 公益事業推進委員会

- ・AED 日常点検講習(公1)(8 件)
- ・臨床工学技士の業務内容紹介(他 1)
 - (1) 臨床工学技士養成校にて講演会開催(2 件)
 - (2) 広報委員会と協力し、臨床工学技士の PR 活動を行う(1 件)
- ・身近な医療機器の安全使用等に関する市民公開講座(公 1)(3 件)
- ・公益事業推進委員会活動の広報活動(他 1)
 - (1) 技士会ニュースに活動状況を中心としたコラムの掲載依頼
 - (2) 技士会ホームページに活動実績を掲載依頼
- ・『点検パン®』普及啓蒙活動(他 1)
- ・医療機器の取扱いに関する啓蒙活動(公 1)(1 件)
- ・AED 日常点検インストラクター講習会(他 1)

6. 渉外委員会(他 1)

- ・平成 30 年 4 月 3 日 北海道ハイテクノロジー専門学校入学式来賓出席
- ・平成 30 年 4 月 11 日 吉田学園入学式来賓出席
- ・平成 30 年 8 月 18 日 北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展(札幌地下歩行空間)
- ・平成 30 年 10 月 6 日 第 24 回北海道東北連絡協議会(福島県郡山市)
- ・平成 31 年 3 月 6 日 吉田学園卒業式来賓出席
- ・平成 31 年 3 月 7 日 西野学園卒業式来賓出席
- ・平成 31 年 3 月 19 日 北海道ハイテクノロジー専門学校卒業式来賓出席

7. 危機管理委員会(他 1)

- ・第 28 回日本臨床工学会でのワークショップ「組織的災害対策」にて『組織的災害対策～北海道臨床工学技士会の取り組み～』を発表
- ・日本透析医会災害情報ネットワーク 全国災害時情報伝達訓練参加(平成 30 年 9 月 1 日)
- ・日本臨床工学技士会 第6回災害対策研修会参加(平成 30 年 9 月 9 日)
- ・JHAT 情報コーディネーターに 5 名登録
- ・災害時情報共有体制などについて地方技士会でのプレゼンテーションの実施
 - 第 2 回 Y ボードミーティング(平成 30 年 7 月 21 日)、第 8 回室蘭地区臨床工学技士会(平成 30 年 8 月 18 日)
 - 釧根地区臨床工学技士会 秋セミナー(平成 30 年 11 月 24 日)、函館臨床工学技士会(平成 31 年 2 月 16 日)
- ・災害時情報共有シートのプレテストの実施(平成 30 年 6 月 12 日)

- ・災害時情報伝達訓練の実施(平成 31 年 3 月 2 日)
- ・JHAT 隊員養成研修(平成 31 年 2 月 24 日)

8. 法務委員会(他 1)

- ・会員専用相談窓口対応

9. 倫理委員会(他 1)

- ・各規程の整備、運用方法の検討

10. 組織委員会(他 1)

- ・支部制導入などに向けた検討
- ・地域連携セミナーの開催

平成 31 年 2 月 2 日 第 4 回地域連携セミナー(北見赤十字病院)参加者:41 名

- ・危機管理委員会との連携
災害マニュアル作成に向けた概案説明

11. 事務局(他 1)

- ・平成 30 年度公益社団法人 北海道臨床工学技士会 総会準備対応(KKR 札幌医療センター)
会員数 1193 名 出席 614 名(うち委任状出席 571 名)
- ・北海道臨床工学技士会会員登録・受付完了通知書の発行
- ・北海道臨床工学会、各セミナー受付業務、受講票の発行
- ・ホームページからの問い合わせ対応
- ・北海道臨床工学技士会 技士会表彰(各養成学校の卒業生に対して)
- ・日本臨床工学技士会より依頼の会員突合せ調査
- ・北海道・東北臨床工学技士連絡協議会対応
- ・賠償責任保険の入会受付窓口
- ・臨床工学技士国家試験監督員の派遣(平成 31 年 3 月 3 日)
- ・各委員会 Web 会議開催調整、支援
- ・Web カンファレンスの開催

12. 財務委員会(他 1)

- ・平成 30 年度正味財産増減計算書および令和元年度予算書の作成
- ・各セミナー・委員会等の財務処理
- ・会員名簿データベースの管理運用方法見直し中
- ・web 会議導入の再検討:安全委員会、公益事業推進委員会、ロボット手術作業部会に導入

13. ロボット手術作業部会(公 2)

- ・ロボット手術学術セミナー平成 31 年 2 月 16 日 (北海道建設会館)参加者:22 名

○平成 30 年度収支決算報告

平成 30 年度正味財産増減計算書(資料参照)

平成 30 年度正味財産財源計算書内訳表(資料参照)

貸借対照表(平成 31 年 3 月 31 日現在)(資料参照)

第2号議案 平成30年度監査報告

報告事項

令和元年度事業計画報告

公1:AED(自動体外式除細動器)等の管理、使用方法等に関する啓蒙活動

- 1)AED 日常点検講習の開催
- 2)身近な医療機器の安全使用等に関する市民公開講座
近隣住民(町内会)を対象とした講座を開催
- 3)医療機器の取扱いに関する啓蒙活動

公2:血液の循環等生命維持に係る知識、医療現場(特に手術)での安全管理に係るスキルアップのための学会、セミナーの開催、会誌・学術誌の発行及び医療機関への配布

- 1)第14回医療安全セミナー、令和元年6月9日(KKR札幌医療センター)
- 2)第10回北海道呼吸療法セミナー、令和元年9月8日(北海道自治労会館)
- 3)第15回医療安全セミナー、開催日未定(KKR札幌医療センター)
- 4)第20回北海道透析技術談話会 協賛、令和元年10月27日(北海道大学学術交流会館)
- 5)アフェレンス血液浄化技術セミナー2019、令和元年11月16日(手稲溪仁会病院)
- 6)第30回北海道臨床工学会、令和元年11月30日~12月1日(北海道大学学術交流会館)
- 7)第31回北海道呼吸セミナー 協賛、令和2年2月予定(札幌医科大学附属病院)
- 8)技士会ニュース年6回発行(5, 7, 9, 11, 1, 3月)*広告掲載企業25社予定
- 9)カテーテルセミナー、開催日、場所未定
- 10)地域連携セミナー、開催日、場所未定
- 11)手術室業務簡易指針の作成
- 12)会誌年1回発行(令和元9月予定)*広告掲載企業25社予定

収1:学会に付帯して行われる商業的展示事業に関する事業

- 1)第30回北海道臨床工学会開催時に、展示を通して来場者に最新機器の動向を把握していただく機会を提供するための機器展示スペース貸与

他1:会員の実習事業、臨床工学技士のPR、関係団体との交流、会員相互の情報共有化、臨床工学技士の賠償責任保険取扱

- 1)会員の実習事業
 - (1)卒業教育セミナー
 - a「統計セミナー」令和元年10月5日・6日(吉田学園)
 - b「教育セミナー」開催日、場所未定
 - c「手術セミナー」令和元年10月、場所未定
 - (2)必要に応じて臨床実習ガイドライン改訂
- 2)臨床工学技士のPR
 - (1)一般市民、学生を対象とした臨床工学技士業務紹介
 - (2)パンフレットやリーフレット、ポスターの改定、および作成検討
 - (3)職業紹介のための行事への参加(臨床工学技士の業務内容紹介)
 - (4)各養成校入学式、卒業式への参加

- (5) 臨床工学技士国家試験監督員の派遣
- (6) 経済産業省 北海道経済産業局との連携(医工連携)
- (7) 『点検バン®』普及啓蒙活動

3) 会員相互の情報共有化

- (1) ホームページの更新: 技士会及び会員にとって有益な情報発信に努める
- (2) メールリストメンバー登録者数増を目標とした啓蒙活動
- (3) 各養成校と意見交換
- (4) 会員専用相談窓口の有効利用の啓蒙
- (5) Y・ボードミーティング開催(年2回、開催日、場所未定)
- (6) Web 業務カンファレンス開催、開催日未定
- (7) 支部制導入に向けた検討
- (8) 人材活性化委員会(仮称)立ち上げ準備
- (9) 北海道臨床工学技士会 災害対策マニュアル完成に向けた取り組み

4) 関連団体との交流

- (1) 北海道・東北臨床工学技士連絡協議会対応

5) 臨床工学技士の賠償責任保険取扱

令和元年度収支予算報告

- ・令和元年度収支予算書(資料参照)

その他報告事項

公益社団法人北海道臨床工学技士会
会長 大宮裕樹

以上

正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	6,095,000	5,780,000	315,000
賛助会員受取会費	1,920,000	2,040,000	△ 120,000
受取会費計	8,015,000	7,820,000	195,000
事業収益			
参加費	1,810,000	2,456,000	△ 646,000
広告料	1,090,647	1,115,000	△ 24,353
展示料	900,000	1,000,000	△ 100,000
事業収益計	3,800,647	4,571,000	△ 770,353
受取補助金等			
受取民間助成金	514,200	431,000	83,200
受取寄付金			
受取寄付金	70,000	100,000	△ 30,000
雑収益			
受取利息	56	33	23
雑収益	118,039	49,836	68,203
雑収益計	118,095	49,869	68,226
経常収益計	12,517,942	12,971,869	△ 453,927
(2) 経常費用			
事業費			
福利厚生費	100,904	35,930	64,974
旅費交通費	2,879,067	3,030,292	△ 151,225
通信運搬費	1,022,252	1,179,802	△ 157,550
什器備品費	15,562	0	15,562
消耗品費	258,454	512,986	△ 254,532
印刷製本費	1,611,397	1,352,267	259,130
会議費	143,331	407,223	△ 263,892
賃借料	1,331,654	1,300,148	31,506
諸謝金	598,041	482,607	115,434
支払負担金	139,531	156,166	△ 16,635
広告宣伝費出	75,600	64,800	10,800
雑費	263,646	253,225	10,421
事業費計	8,439,439	8,775,446	△ 336,007
管理費			
福利厚生費	1,050,063	498,989	551,074
会議費	80,632	54,412	26,220
旅費交通費	240,819	133,840	106,979
通信運搬費	77,508	72,736	4,772
消耗什器備品費	976	0	976
消耗品費	49,562	85,274	△ 35,712
印刷製本費	71,435	1,143	70,292
賃借料	91,092	36,610	54,482
諸謝金	63,012	13,480	49,532
租税公課	8	2	6
支払負担金	13,969	23,634	△ 9,665
支払寄付金	150,000	0	150,000
管理諸費	1,108,647	1,054,428	54,219
雑費	58,018	56,532	1,486
管理費計	3,055,741	2,031,080	1,024,661
経常費用計	11,495,180	10,806,526	688,654
評価損益等調整前当期経常増	1,022,762	2,165,343	△ 1,142,581
当期経常増減額	1,022,762	2,165,343	△ 1,142,581
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	1,022,762	2,165,343	△ 1,142,581
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	952,762	2,095,343	△ 1,142,581
一般正味財産期首残高	5,633,067	3,537,724	2,095,343
一般正味財産期末残高	6,585,829	5,633,067	952,762
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,585,829	5,633,067	952,762

貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,231,424	11,000,961	1,230,463
前払費用	0	320,540	△ 320,540
仮払金	22,772	0	22,772
流動資産合計	12,254,196	11,321,501	932,695
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	12,254,196	11,321,501	932,695
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,040	4,000	40
未払法人税等	70,000	70,000	0
前受金	5,590,000	5,600,000	△ 10,000
預り金	4,327	14,434	△ 10,107
流動負債合計	5,668,367	5,688,434	△ 20,067
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,668,367	5,688,434	△ 20,067
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	6,585,829	5,633,067	952,762
正味財産合計	6,585,829	5,633,067	952,762
負債及び正味財産合計	12,254,196	11,321,501	932,695

監査報告書

平成31年4月26日

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
会長 大宮 裕樹 殿

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

監事 柴田 晴昭



監事 川端 忠範



私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び役員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第42条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、損益計算書正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

会計監査人 川端 忠範の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

